

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-01-25

会員研究発表リスト : 1997 年 4 月-1998 年 3 月

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

経営志林

(巻 / Volume)

35

(号 / Number)

2

(発行年 / Year)

1998-07-30

会員研究発表リスト—1997年4月～1998年3月—

花原二郎 教授

- (著書) 「くらしの経済」江東区消費者センター, 1997年7月
- (著書) 「日本経済のゆくえ」羽村市経済課, 1997年11月
- (著書) 「日本の金融政策」足立区消費者センター, 1998年2月
- (著書) 「日本経済の現状と展望」世田谷区消費生活課, 1998年2月

野田正穂 教授

- (論文) 「1920年代の担保付き社債——箱根土地社債のティフォルトについて——」法政大学経営学会『経営志林』第34巻第3号, 1997年10月
- (論文) 「金融ビッグバンと国民生活」労働運動総合研究所, 『労働総研クォーターリー』No. 29, 1998年1月
- (論文) 「多摩湖鉄道の12年間」東京都東村山市, 『東村山市史研究』第7号, 1998年3月

一寸木俊昭 教授

- (研究ノート) 「経営学の歴史と現在——戦後日本の企業経営と企業社会の変貌——」法政大学経営学会『経営志林』第34巻第2号, 1997年7月
- (研究ノート) 「経営学と経営学方法論」法政大学経営学会『経営志林』第34巻第4号, 1998年1月
- (書評) 「鈴木淳著『明治の機械工業』ミネルヴァ書房, 1996年」経営史学会『経営史学』32巻4号, 1998年1月

角瀬保雄 教授

- (論文) 「非営利・共同組織の会計, 監査, アカウンタビリティ」法政大学経営学会『経営志林』第34巻第1号, 1997年4月
- (論文) 「非営利・共同組織と民主的管理」法政大学経営学会『経営志林』第34巻第2号, 1997年7月
- (論文) 「戦後批判会計学の回顧と今日の課題」法政大学『経営志林』第34巻第4号, 1998年1月
- (論文) 「橋本行革の本質」全国教職員連絡会『ほんりゅう』第163号, 1997年11月
- (論文) 「規制緩和への視点」全国保険医団体連合会『月間保団連』第567号, 1998年3月
- (共同論文) 「農協改革と農協改革＝法」政治経済研究所『経済研案』第69号, 1997年11月
- (シンポジウム) 「日本資本主義と経済民主主義」新日本出版社『経済』第8号, 1997年8月
- (書評) 「内橋克人編『経済学は誰のためにあるのか』を読む」日本共産党, しんぶん赤旗, 1998年9月8日
- (書評) 「戸木田嘉久・三好正己『生協職員論の探求』」新日本出版社『経済』第30号, 1998年3月
- (紹介) 「塩田庄兵衛『私たちの自由民権運動』」労働運動総合研究所『労働総研クォーターリー』第29号, 1998年1月
- (共著) 「1998国民春闘白書」学習の友社, 1997年11月
- (解説) 「社会的経済とは何か」新日本出版社『経済』第29号, 1998年2月
- (時評) 「労協法第一次案を読んで」協同総合研究所『協同の発見』第68号, 1997年12月

岡田裕之 教授

- (著書) 「冷戦から世界経済再統合へ——平和と経済学原理の探求——」時潮社, 1997年9月

- (著書) 「貨幣の形成と進化：モノからシンボルへ」法政大学出版局，1998年2月
- (論文) 「物心貨幣から象徴貨幣へ——貨幣形成をめぐる現代の論点—— (X)(XI)」法政大学経営学会『経営志林』第34巻第1号，1997年4月，同第2号，1997年7月
- (学会報告) 「世界市場型国際連関の進化と社会主義世界体制の分裂・崩壊・転換」，1997年6月
比較経済体制第37回大会，於旭川大学，比較経済体制学会『比較経済体系学会報』第35巻，
1998年2月
- (学会報告) 「労賃論——現代資本主義の定型的事実と経済学原理の構成」経済理論学会，第45回大会，於日本大学，1997年10月
- (シンポジウム報告) 「スラブ研究の未来——比較経済体制の観点から——」スラブ・ユーラシアの変動——自在と共存の条件——，於北海道大学スラブ研究センター，北海道大学スラブ研究センター『スラブ・ユーラシアの変動(報告集)』，1998年3月

下川 浩一 教授

- (著書) 「日米自動車産業攻防の行方」時事通信社，1997年12月
- (論文) 「自動車工業における生産システムの変化と高齢者対策の進化」法政大学経営学会『経営志林』第34巻第4号，1998年1月
- (論説) 「中古車流通と流通革命」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1997年4月1日
- (論説) 「ホンダアンナエンジン工場の挑戦」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1997年4月29日
- (論説) 「東京モーターショウのトレンド」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1997年5月13日
- (論説) 「第2回ソウルモーターショウの印象」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1997年5月27日
- (論説) 「大宇自動車のグローバル戦略」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1997年6月18日
- (論説) 「大宇自動車群山工場訪問記」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1997年6月28日
- (論説) 「GERPISA自動車産業国際会議」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1997年7月5日
- (論説) 「三星自動車釜山工場訪問記」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1997年7月26日
- (論説) 「現代自動車蔚山工場の近況」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1997年7月30日
- (論説) 「ASEAN自動車市場の明暗」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1997年8月12日
- (論説) 「トヨタ生産方式とTQC」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1997年9月8日
- (論説) 「高齢者技能教育の新展開」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1997年9月17日
- (論説) 「アメリカ自動車流通革新の行方」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1997年10月28日
- (論説) 「起亜自動車の経営危機」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1997年11月10日
- (論説) 「MIT韓国フォーラム」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1997年11月26日
- (論説) 「金融証券システム危機と法人資本主義」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1997年12月10日
- (論説) 「地球温暖化防止と自動車」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1997年12月27日
- (論説) 「GMトラックセンター訪問記」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1998年1月17日
- (論説) 「アジア経済危機と自動車産業」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1998年1月23日
- (論説) 「拡大基調に乗るNUMIの近況」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1998年2月21日
- (論説) 「三星自動車第1号車発売と釜山工場の印象」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1998年3月10日
- (論説) 「マツダデジタルイノベーション」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1998年3月17日
- (論説) 「ヒロテックの新たな挑戦」日刊自動車新聞『日刊自動車新聞』，1998年3月
- (論説) 「自動車流通革命必至に」日本経済新聞『日本経済新聞』，1998年3月19日

佐藤 昌一郎 教授

- (論文) 「地方自治と平和」日本平和教育研究協議会『平和教育』第52号, 1997年6月
- (報告) 「沖縄が問う『自治体と平和』」非核の政府を求める会『今非核自治体に輝きを』, 1997年5月
- (論文) 「地方自治体と地域の平和的発展のために」自治労連『他方自治と米軍基地』, 1997年7月
- (論文) 「陸軍造兵廠の形成とその再生産機構(下の5)」法政大学経営学会『経営志林』第34巻第3号, 1997年10月
- (共著) 「日米地位協定逐条批判」新日本出版社, 1997年6月

遠田 雄志 教授

- (翻訳) 「K. E. ワイク『組織化の社会心理学』」文真堂, 1997年4月1日
- (編著) 「A History of Management Thought」AyA, 1997年4月10日
- (著書) 「私, あいまい系です」同朋舎, 1997年6月25日
- (報告) 「視聴覚教材による授業について」私大連盟『1997年度 大学教育授業を考えるワークショップ報告書』, 1997年7月27日
- (用語解説) 「田島壮幸編『経営学用語辞典』(意思決定, ゴミ箱モデル, コミュニケーション他) 税務経理協会, 1997年6月15日
- (報告) 「ゴミ箱論理をめぐって」富士短大校友会研究会, 1997年11月3日
- (論文) 「異常組織論Ⅰ～Ⅱ」法政大学経営学会『経営志林』第34巻第3号, 1997年10月, 第4号, 1998年1月

今井 一孝 教授

- (論文) 「組織文化と戦略(Ⅲ)」法政大学経営学会『経営志林』第34巻第4号, 1998年1月

佐藤 康男 教授

- (編著) 「日本企業の管理会計」白桃書房, 1997年4月
- (論文) 「企業倫理と会計(Ⅰ)」法政大学経営学会『経営志林』第34巻第2号, 1997年4月
- (時評) 「会計と倫理」中央経済社『企業会計』, 1997年4月号
- (時評) 「企業における倫理教育」中央経済社『企業会計』, 1997年5月号
- (時評) 「アメリカの大学(院)におけるビジネス倫理教育」中央経済社『企業会計』, 1997年6月号
- (共同執筆) 「神戸大学会計学研究室編『会計学辞典』」同文館, 1997年6月
- (論文) 「日本企業の事業部管理」関西大学商学会『関西大学商学論集』42-4号, 1997年10月
- (論文) 「日本企業の海外事業管理」法政大学経営学会『経営志林』第34巻第3号, 1997年10月

宇田川 勝 教授

- (校閲) 「日本都市カガス産業史」日本ガス協会, 1997年10月
- (論文) 「鮎川義介の産業開拓活動——自動車国産化活動を中心に——」名古屋大学出版会, 森川英正・由井常彦編『国際比較・国際関係の経営史』, 1997年12月
- (論文) 「国産化政策と外資——自動車製造事業法とフォード・GM——」有斐閣, 伊丹敬之・加護野忠男・宮本又郎・米倉誠一郎編『ケースブック日本企業の経営行動』第1巻, 1998年3月
- (研究ノート) 「財閥における専門経営者——中上川彦次郎と小平浪平——」法政大学産業情報センター『ワーキング・ペーパー』No.69, 1998年3月
- (研究ノート) 「新興重化学工業の産業開拓者——野口遵と森轟昶——」法政大学産業情報センター『ワーキング・ペーパー』No.70, 1998年3月

原 征 士 教授

- (文献紹介) 「Edger Jones, TRUE AND FAIR — A History of PRICE WATERHOUSE (1995)」
産業経理協会『産業経理』Vol.57, No. 3, 1997年10月
- (書評) 「Hidetoshi Yamaji, Kazumi Susuki, Akira Kajiwara, and Yoshinao Matsumoto, Nihon-
teki Kigyo-Kaikei no Keisei Katei [The formation of Japanese-style business accounting],
1994, Chuo Keizaisha.」 Business History Society of Japan “ Japanese Yearbook on Business
History ”, Volume 14, 1997. 1997年12月

鈴木 武 教授

- (共同論文) 「海外投資が国内投資に与える影響についての研究」法政大学経営学会『経営志林』第34
巻第1号, 1997年4月
- (論文) 「都市人口と順位との関係」法政大学経営学会『経営志林』第34巻第4号, 1998年1月

小 川 孔 輔 教授

- (論文と学会発表) 「ブランド連想のネットワーク」『経営志林』1997年4月
- (前野和子氏と共同発表) 「付加価値延期型 SP の効果」第61回マーケティング・サイエンス学会,
1997年7月
- (林広茂氏との共同論文) 「米日間でのマーケティング技術の移転モデル」『マーケティング・ジャー
ナル』, 1997年12月
- 「Measuring Brand Power by a Pricing Experiment」『グノーシス』, 1998年3月
- (著書) (青木幸弘氏ほかとの共編) 『最新ブランド・マネジメント体系』日本経済新聞社, 1997年6
月
- (著書) (With Kentaro Ohyama) “Customer Comes First: A Story of Marketing and Logistics
Innovations in a Japanese Venture Company,” Diamond Co., 1998年2月
- (書評/紹介) 「David A. Aaker, Buiding Strong Brands, John Wiley and Sons, 1996. 『マーケティ
ング・ジャーナル』, 1997年 (グノーシス掲載の短縮版)
- 「安藤敏夫・石井勇次『花の解体新書』」農村文化社『日本農業新聞』, 1998年1月
- (プロジェクト研究・報告書など)
- (研究報告書) 「広告のブランド資産蓄積効果についての研究 (1)」『1996年度電通吉田秀雄記念財団
研究助成金』, 1997年4月
- (調査報告書) 「花卉先物取引に関する調査報告書」横浜生絲取引所, 1997年9月
- (調査報告書) 「園芸店店頭調査」法政大学産業情報センター, 1997年11月
- (研究報告書) 「広告のブランド資産蓄積効果についての研究 (2)」『1997年度電通吉田秀雄記念財団
研究助成金』, 1998年3月
- (コラム・エッセイ・インタビューなど)
- 「当世ブランド物語 (2): さよならファミリーレストラン・すかいらーく」『ブレン』, 199
7年4月
- 「当世ブランド物語 (3): 老舗ブランドの伝統と革新・虎屋」『ブレン』, 1997年5月
- 「ヴァーチャル・コンサルティングカンパニー」『流通産業』, 1997年5月
- 「当世ブランド物語 (4): もうひとつのアサヒスーパードライ・韓国ハイトビール (前編)」
『ブレン』, 1997年6月
- 「当世ブランド物語 (5): もうひとつのアサヒスーパードライ・韓国ハイトビール (後編)」
『ブレン』, 1997年7月

- 「当世ブランド物語（6）：日本発のカテゴリーを創造する・大正製薬リポビタミンD」【ブレーン】，1997年8月
- （シンポジウム記録）「ブランド資産は利益の源泉」【日本経済新聞社 夕刊】，1997年8月20日
- 「当世ブランド物語（7）：クラシックブランド25年目の復活・ダイハツ／ミゼット（前編）」【ブレーン】，1997年9月
- （インタビュー）「インターンシップ制度：成功の秘訣はあまり直接的なメリットをみないこと」【WORKS】リクルート，1997年9月10日
- 「当世ブランド物語（8）：クラシックブランド25年目の復活・ダイハツ／ミゼット（後編）」【ブレーン】，1997年10月
- （インタビュー）「これからのガーデンセンター」【グリーン情報】，1997年10月
- 「当世ブランド物語（9）：海外ブランドのインショップ展開・Hartmann Luggage in MITSUKOSHI」【ブレーン】，1997年11月
- （インタビュー）「フラワーショップにおける3つのチェーンシステム展開の可能性」【グリーン情報】，1997年11月
- （講演録）「花のしごと基礎講座5：日本人による海外での花苗生産」【はなみどり】，1997年11月
- （講演録）「花ビジネスに訪れている変化：自分のまわりから始めよう」【草月】増刊号，1997年11月
- 「当世ブランド物語（10）：ガーデニングブームを演出するサントリーの花：サフィニア」【ブレーン】，1997年12月
- 「当世ブランド物語（11）：親ブランド“ソニー”からの自立：SCEプレイステーション（前編）」【ブレーン】，1998年1月
- 「当世ブランド物語（12）：親ブランド“ソニー”からの自立：SCEプレイステーション（後編）」【ブレーン】，1998年2月
- 「“期待されない”大学像：第2創業期を迎えた大学の研究教育組織」【法政通信】，1998年2月
- 「当世ブランド物語（13）：ロングセラーブランドの再活性化・J&Jバンドエイド」【プレート】，1998年3月
- 「JAN-POS87型コードを提案する」【はなみどり】，1998年3月
- 「当世ブランド物語（14）：先憂後楽のマーケティング・大塚製薬」

小池 和男 教授

- （著書）“Human Resource Development” The Japan Institute of Labour, P.143, 1997年
- （著書）「日本企業の人材形成」中央公論社【中央新書】174ページ，1997年11月
- （論文）“Dislocation and the Employment of Older Workers” in Japanese Economic Studies, vol. 24. no. 3. pp.62-82. 1997年
- （論文）「伝統ある大メーカーの日英比較」日本労働研究機構「国際比率：大卒ホワイトカラーの人材開発・雇用システム——日，英，米，独の大企業（1）事例調査編」所収，日本労働研究機構，pp.65-104, 1997年
- （論文）「問題と方法」同上所収，pp. 1-20.
- （論文）「事例調査とアンケート調査の照合」日本労働研究機構「大卒ホワイトカラーの人材開発・雇用システム——日，英，米，独の大企業（2）アンケート調査編」所収，日本労働研究機構，pp.42-56, 1998年

柳 沼 寿 教授

- （Universite Catholique de Levin IRES セミナー）“The Overseas Activity of Japanese Firms and

- It's Effect on Industrial Technology, 1997年5月
(The Judge Institute セミナー (Cambridge)) "A Comment on the Japanese Management", 1998年2月
(The Judge Institute セミナー (Cambridge)) "The Interfirm Network in the Japanese Economy", 1998年3月

永野 則雄 教授

- (著書) 「はじめての簿記」白桃書房, 1997年4月
(著書) 「会計情報を読むヒント」東林出版社, 1997年9月
(論文) 「会計変化論の視座」森山書店『会計』第152巻第4号, 1997年10月
(論文) 「会計意思決定のゴミ箱モデル」法政大学経営学会『経営志林』第34巻第3号, 1997年10月

矢作 敏行 教授

- (編) 「流通規制緩和で変わる日本」東洋経済新報社, 1997年4月
(分担執筆) 「変容する流通チャネル」(第7章), 田島義博・原田英生編『ゼミナール流通入門』日本経済新聞社, 1997年6月
(著書) 「小売りイノベーションの源泉」日本経済新聞社, 1997年9月
(共編) 「鈴木安昭・関根孝・矢作敏行編『マテリアル 流通と商業 (第2版)』」有斐閣, 1997年10月
(Autumn Book Review) "Joanne Lamaey, Retailing in East Asia, *The European Retail Digest*, Vol. 16." Templeton College, Oxford.

林 直嗣 教授

- (共著書) 「現代金融入門 (岸真清・林直嗣共著)」八千代出版, 1997年11月

大下 勇二 教授

- (著書) 「フランス財務報告制度の展開」多賀出版, 1998年2月
(論文) 「フランス財務報告制度の展開 (3)」法政大学経営学会『経営志林』第34巻第2号, 1997年7月
(学会報告) 「フランス連結会計基準の国際的調和——フランス商社会社法とEC会社法指令第7号」日本会計研究学会, 特別委員会『連結会計基準の国際的調和——第1年度 (1997年度) 中間報告, 第56回全国大会, 1997年9月
(学会報告) 「フランス財務報告制度の展開」日本会計研究学会第56回全国大会, 1997年9月
(論文) 「フランス財務報告制度の展開 (4)」法政大学経営学会『経営志林』第34巻第3号, 1997年10月
(論文) 「フランス財務報告制度の展開 (5)」法政大学経営学会『経営志林』第34巻第4号, 1998年1月

神谷 健司 教授

- (論文) 「国際財務報告の方法」『グノーシス』第7号, 1998年3月

四塚 利樹 教授

- (論文) 「スワップ信用リスクのプライシング」日本証券アナリスト協会『証券アナリストジャーナル』第35巻第10号, 1997年10月

(論文)「実力報酬のメカニズム」東洋経済新報社『週刊東洋経済』第5445号, 1997年9月

奥西好夫 助教授

(論文)「第9章 労働安全衛生規制」NTT出版, 植草益(編)『社会的規制の経済学』, 1997年7月

(論文)“Changing Labor Forces and Labor Markets in Asian “Miracle” Countries.” East-West Center, East, West Center working Papers (Population Series), 1997年8月

(報告書)「第1章 シンガポールにおける外国人労働者政策と雇用の現状」連合総合生活開発研究所『海外における雇用機会の創出等に関する調査研究報告書Ⅲ』, 1997年3月

(報告書)「(川喜多喬・今野浩一郎両氏と)『価格破壊・価格革命下の卸売業の経営と労働事情に関する調査』, 東京都立労働研究所, 1998年3月

(巻頭言)「アジア経済と「塞翁が馬」」労働大臣官房政策調査部『労働統計調査月報』第50巻第3号, 1998年3月

田中 洋 助教授

(論文)「新商品開発過程における「消費者ニーズ」概念の再検討」城西大学経済学部『城西大学経済経営紀要』第16巻第1号, 1998年3月

(共編著)「最新ブランド・マネジメント体系」日経広告研究所, 1997年5月

(論文)「銀行広告の効果過程——「累積記憶」概念によるアプローチ」日経広告研究所『日経広告研究所報』172号, 1997年4月

(論文)(章執筆)「広告効果測定理論」日経広告研究所『広告に携わる人の総合講座平成9年版』, 1998年2月

岸 真理子 助教授

(論文)「メディア属性とメディア選択」千倉書房, 日本経営学会編『現代経営学会の課題』, 1997年9月

(論文コメント)「藤田誠論文『企業評価と経営資源・組織能力』について」税務経理協会『税経通信』第52巻第5号, 1997年4月

(辞典項目)「「データベース」「顧客データベース」「ダウンサイジング」ほか」税務経理協会, 田島壮幸編『経営学用語辞典』, 1997年8月

洞口 治夫 助教授

(学会報告)「日本の産業空洞化——1987年から93年の主要電機メーカーについて——」日本経済政策学会第54回大会, 於・中央大学, 1997年5月24日~5月25日

(論文)「「外部性」植草益編『社会的規制の経済学』第4章」NTT出版会, 1997年7月

(論文)「参入・退出と組織の再編成——アメリカにおける日系多国籍企業の事業継続と組織的進化——」『三田学会雑誌』(慶應義塾大学経済学部), 第90巻第2号, 1997年7月

(論文)「日本の産業空洞化——1987年から93年の主要電機メーカーについて——(上)(下)」『経営志林』第34巻第3号, 1997年10月および第34巻第4号, 1998年1月

(発表)「在外研究報告(1994年8月~1996年8月):発表に至った二つの論文について」法政大学経営学会研究会, 1997年11月26日

(発表)「日本の産業空洞化——1987年から93年の主要電機メーカーについて——」於・慶應義塾大学経済学会コンファレンス,「国際産業組織論の実証研究」報告論文, 1997年11月28日・29日

(コメント) “Comments on ‘The Role of the United States and Japan in Foreign Direct Investment and the Transfer of Technology’,” in Gustav Ranis (ed.), *Japan and the United States in the Developing World*, San Francisco: International Center for Economic Growth, pp.247-254. 1997年12月

今 橋 隆 助教授

- (論文) 「港湾事業者の事業展開の戦略方向」統計研究会『流通活動に対する港湾事業者の新たな役割について』, 1997年7月
- (論文) 「都市交通論の展開と廣岡交通学」法政大学経営学会『経営志林』第34巻第4号, 1998年1月
- (研究ノート) 「『軽減された規制』の決定過程に関する考察」運輸経済研究センター『モビリティ』第108号, 1997年7月
- (学会報告) 「規制改革下の補助に関する考察」日本交通学会第56回大会, 1997年11月
- (論説) 「条件変化にさらされる道路整備のあり方」高速道路調査会『高速道路と自動車』第40巻第9号, 1997年9月

福 田 淳 児 助教授

- (論文) 「複数プロジェクトを対象とした場合での原価企画活動の論点」横浜市立大学『横浜市立大学紀要』社会科学系列第1号, 1998年3月
- (共著) 「原価計算」創成社, 1997年10月